

26 海に堆積した地層－師崎層群

知多半島の先端部南知多町を中心とする地域には、新生代新第三紀中新統の師崎層群の地層が見られます。



point 長谷崎 (国土地理院地図に加筆)

知多半島の先端部南知多町を中心とする地域に師崎層群と呼ばれる新第三紀中新世の海成層が分布しています。おもに、凝灰質な砂岩と泥岩の互層です。師崎層群は全体が凝灰質ですが連続性の良い凝灰岩がないため、地質調査は厚い砂岩層を使って進められてきました。下部から、日間賀層、豊浜層、山海層、内海層に区分され (Shibata, 1977)、聖崎～長谷崎周辺は豊浜層の凝灰質砂岩泥岩層が分布しています。きれいな成層構造が見られ地層の観察には適したところです。さらに、巨大なコンクリーション (凝灰質砂岩と凝灰質泥岩の互層をまたぐようにして形成されており、ドロマイト質) や変形構造、断層など様々な地質構造も観察できます。比較的深い海に住む貝化石がよく見られます。豊浜層の最下部は知多半島では先端の幡豆岬で見られ、下位の日間賀層も観察できます。堆積年代は 1800 万年前ごろです。



大きな球状炭酸塩コンクリーション



スランプ褶曲 (未固結時の変形構造)



断層も見られます



海岸の礫 白色の凝灰質砂岩～シルトの中礫が多く、
礫径が長円形のものが目立ちます。



師崎 幡豆岬で見られる豊浜層基底の厚い砂岩層
この砂岩層の下位が日間賀層です



凝灰質砂岩

参考文献

古川邦之・谷 健一郎・金丸龍夫・星 博幸, 2023, 中新統, 師崎層群と瑞浪層群に含まれる軽石質凝灰岩の対比.
地質雑, 129 (1), 325-340.

Shibata, Hiroshi, 1977, Miocene mollusks from the Southern part of Chita Peninsula, Central Honshu.
Bull. Mizunami Fossil Mus., 4, 45-53.

村松憲一, 2019, 愛知県の地質とジオサイト 第二版. 190 p.

※ 大井漁港南側（聖崎公園）に駐車スペースがあります。

※ 一部、干潮時の方がよいところがあります。

※ 南からは軽自動車なら露頭まで入れます。